

東邦宣伝より、大切なお客様へ
【TOHO News Letter】



【TOHO News Letter】では、お役立ち情報を毎週配信しております。
最後までお読みいただくとありがとうございます。

本日のテーマ：「屋外に広告を出すメリットってあるの？」

「屋外広告」というのは、電柱の広告やネオンサインをはじめとした公共の場所に広く設置されている広告の総称です。
最近では「●●ビジョン」といった、テレビ画面のようなサイネージ広告も増加傾向にあり、根強い人気があります。本日は、屋外広告の種類とメリットをご案内します



▲アメリカ・ニューヨーク

屋外広告の種類

① 屋上広告

建物の屋上に設置されているため、遠くからでも目立ちます。
通行量の多い繁華街や、大きな交差点付近のビルの屋上に多く設置されています。



▲屋上看板イメージ

② 壁面広告

建物の壁に設置されているため、こちらも額面を広くとることができ、大変目立ちます。
最近はLEDを用いた液晶画面を設置し、映像で広告が流れるものも増えてきました。



▲壁面広告看板イメージ

③ 突き出し看板

建物の壁から少し突き出して設置されています。壁面看板とは違い、公道に突き出ているために規制が少し厳しくなる為、広告の表示面積は小さくなりますが、道路を通行する車や通行人の目に留まりやすいです。



▲突き出し看板イメージ

④ 電柱広告

電柱に設置されています。電柱に巻き付くように設置されていたり、電柱から突き出して設置されているものがあります。街の景観に溶け込みやすく、あまり目立たないという考えもありますが、地域住民が目にする機会が多い為、地元で根差した店舗にはうってつけの媒体と言えるかもしれません。



⑤懸垂幕 (けんすいまく)

デパートなど大きな商業施設の壁に取り付けられていることが多い屋外広告です。また、学校などで生徒や出身者の荣誉を称える際に使われることもあります。いずれの場合も、設置される施設の広告として使われることが多いです。



▲懸垂幕イメージ

⑥自立看板

地面にポールなどを立てて設置する広告のことで、「自立看板」・「ポール看板」とも言われます。ビルのエントランス付近に設置されることが多く、そのビル内のテナントや誘導案内にも用いられる屋外広告です。



▲自立看板イメージ

⑦吊下げ看板

天井から吊下げられているタイプの看板です。
多くの通行人が行き交う場所に
設置できるため、駅のプラットフォームや
建物の天井から吊下げられていて、
通行人の目線に留まりやすいために案内広告として
多く用いられています。



▲吊下げ看板イメージ

⑧車体広告

電車やバス・トラックやタクシーなど、車体に施された広告で、
移動しながら告知ができるためにたくさんの人の目に触れることが期待できます。



▲車体広告イメージ

屋外広告のメリット

メリット①：ターゲットが絞れる

どんな商品でも、訴求したいターゲットを設定すると思いますが、
屋外広告は、その絞り込んだターゲットに向けて広告を出すことができます。
例えば、幅広い年齢層と多くの人にアピールしたい時は、繁華街に多く設置されている

屋上広告や壁面広告が有効と言えます。
逆に地域に根差した商品の場合は電柱広告などが有効です。

メリット②：刷り込み効果が期待できる

屋外広告は、外出すれば必ず目に触れる広告です。
実は私たちは、無意識のうちに屋外広告を目にしているのです。
日々の通勤や通学の際に毎日のように触れているので、
普段は気に留めていなくても、「そういえば・・・」と
思い出すきっかけになるかもしれません。

**メリットを最大限に引き出すには、
分かりやすく端的な情報をターゲットが多くいる
エリアに設置することが肝心です。**

屋外広告に関するお問い合わせを承っております。

[お問い合わせはこちら](#)

 **東邦宣伝株式会社**



本メールは弊社のお客様、弊社代表やスタッフとお名刺交換させて頂いた方に配信しております。
配信停止をご希望の方は、お手数ですが下記のメールアドレスまで
配信停止希望のご連絡を頂きますようお願いいたします。

[配信停止希望](#)

©2020 – Tohosenden Corp. All rights reserved.